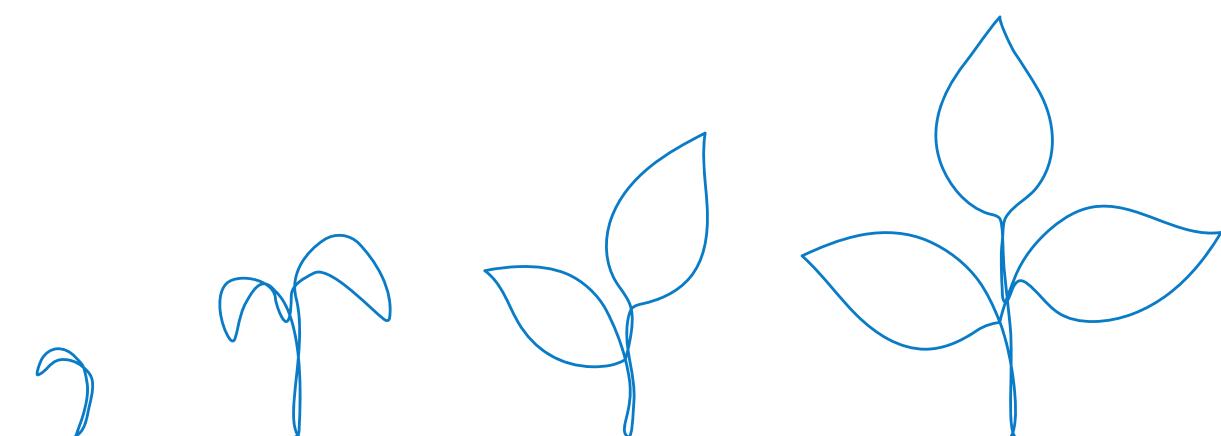




# 資金量と効率的な運用方法

基礎学習講座



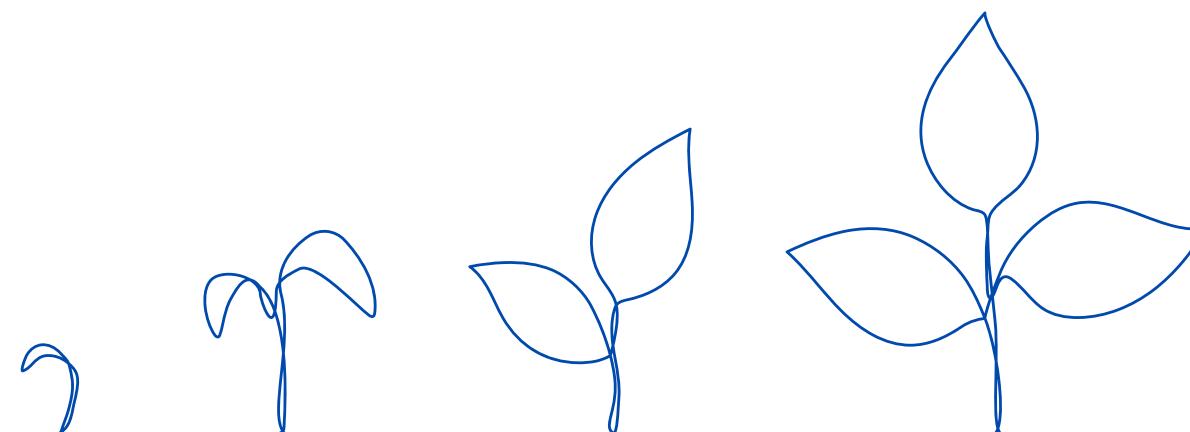


# 資金量と効率的な運用方法

FX取引を始める際には、資金量をどのように運用するかが重要なポイントです。

効率的な運用を行うことで、リスクを管理しながら利益を追求することができます。

このセクションでは、証拠金維持率や初心者に適した資金額や運用方法、レバレッジの使い方、ポジションサイズの決め方、損切りラインの設定などについて解説します。





# 証拠金維持率について

現在の口座資金(有効証拠金)が、ポジションを維持するために必要な証拠金に対して、どれくらい余裕があるかを示す割合のことです。簡単に言えば、「いまどれだけ安全にポジションを保有できているか」を数値で示したものです。

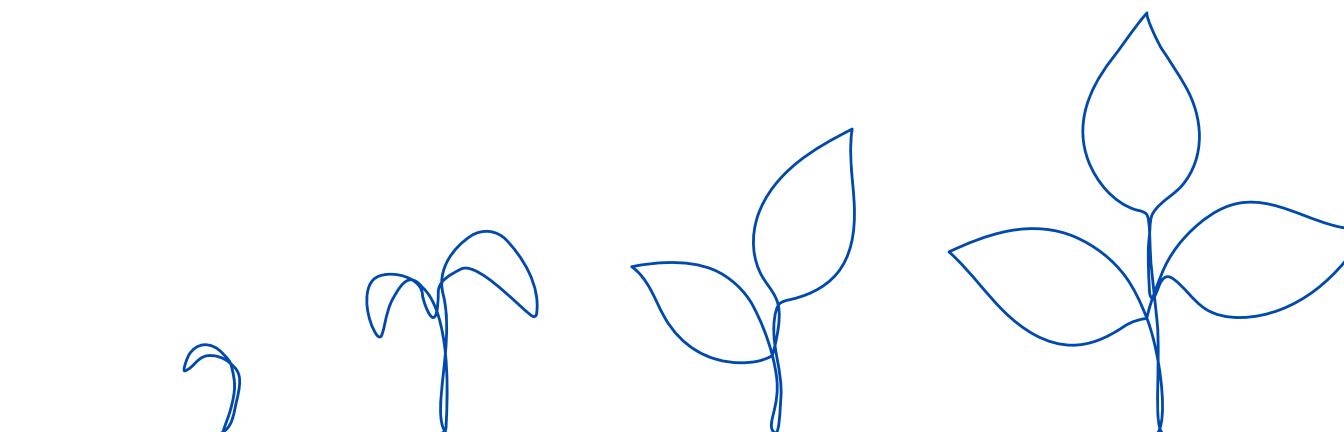
証拠金維持率が一定の基準(通常は100%)を下回ると、証券会社によっては強制ロスカット(ポジションが自動的に決済される措置)が発動します。





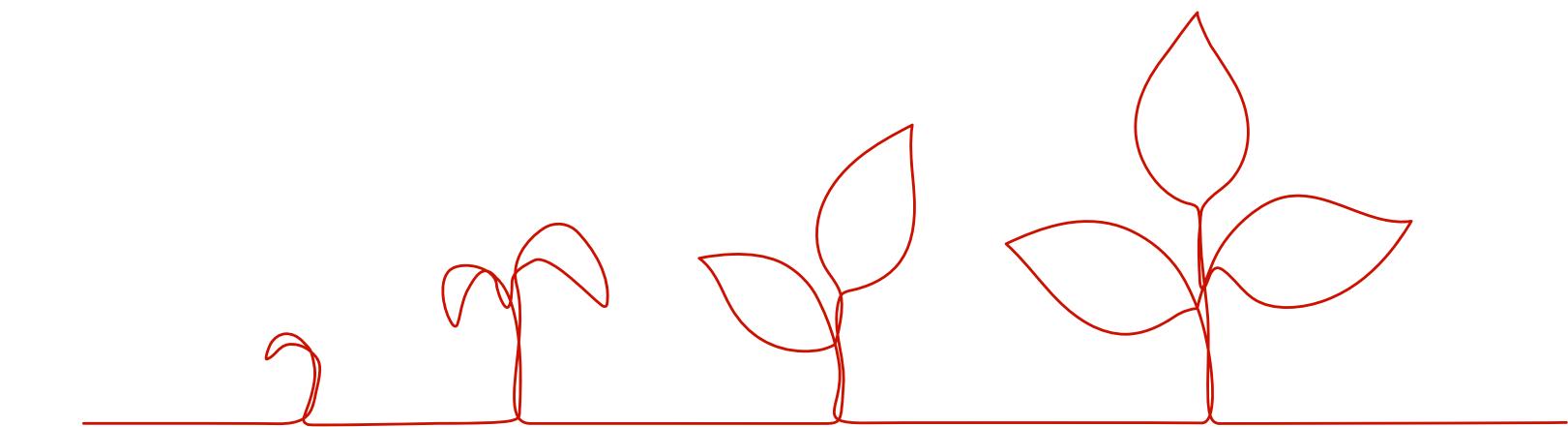
# 証拠金維持率について

トレードを安定して続けていくためには、証拠金維持率を最低でも200～300%以上に保つことが推奨されます。この数値を常に意識することで、リスクを適切に管理し、安定した資金運用を実現することができます。





# 初心者に適した資金額





# 無理のない資金額

一般的に、FXを始める際の最低資金は、口座開設に必要な証拠金と取引に必要な証拠金の合計額となります。FX取引は少額から始めることが可能ですが、無理のない資金額でスタートすることが大切です。

初心者の方には、まずは少額から始めることをおすすめします。

これは、大きな損失を出してしまうリスクを減らすためです。

ただ、あまりに少額だと、損失が出た際にすぐに

資金がなくなってしまうため、ある程度の余裕を

持って取引できる額を用意しましょう





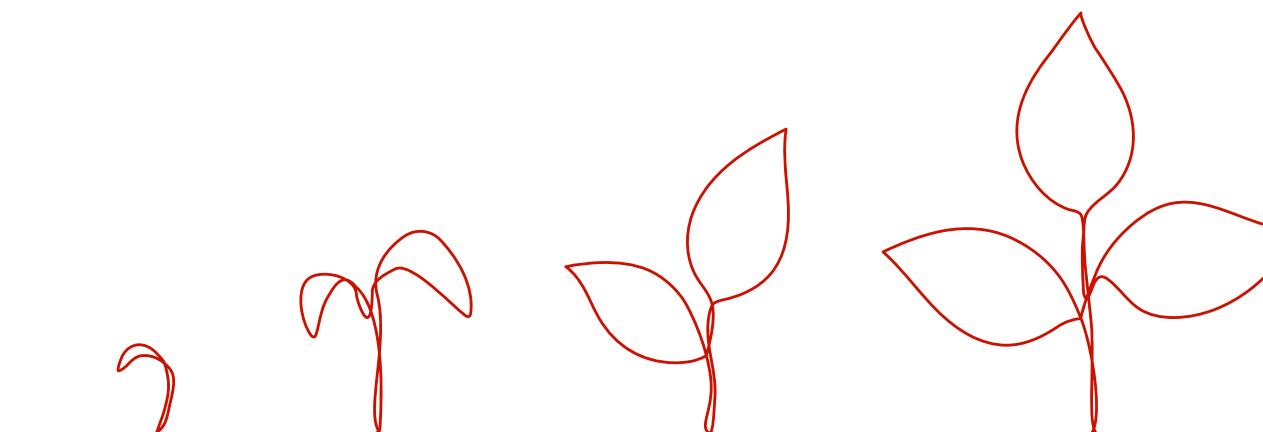
# ポイント

余剰資金で運用:

生活費や緊急時の資金とは別に、リスクを取れる余剰資金を使うことが基本です

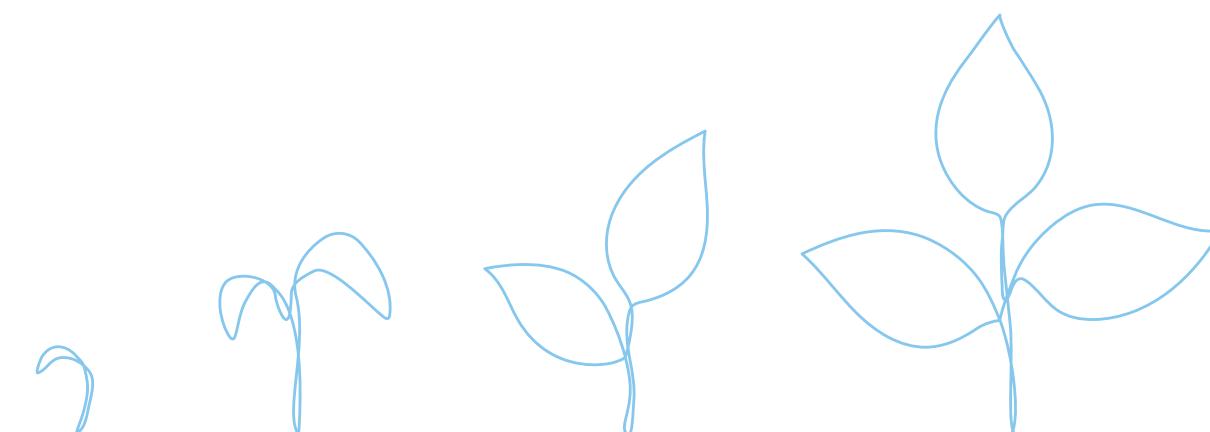
無理のない範囲:

最初は少額で始めて、経験を積むにつれて資金を増やす方が安全です





# 資金の効率的な運用方法



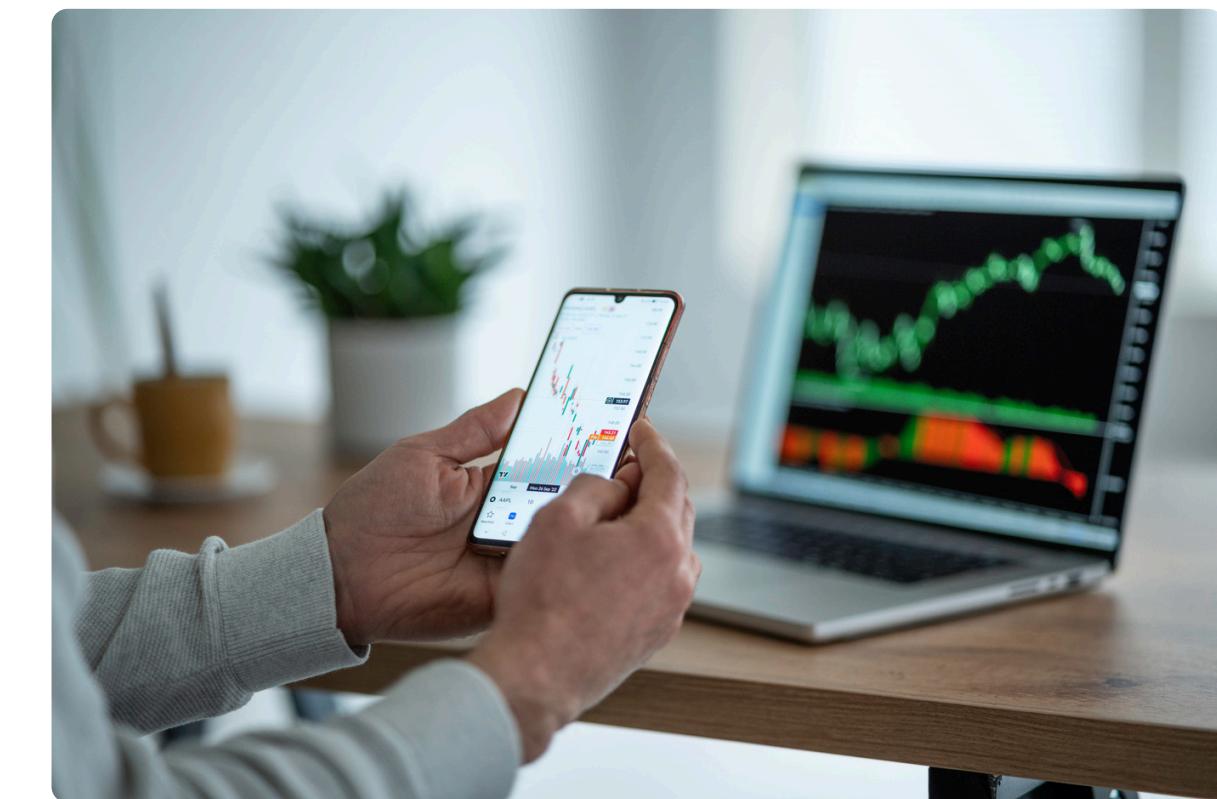
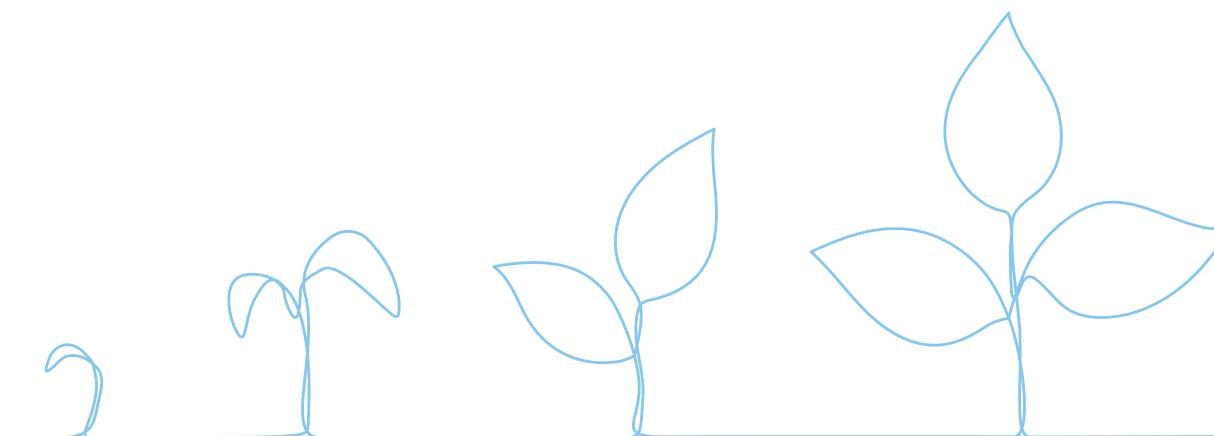


# 資金の効率的な運用方法

FXでは、資金を無駄にせず、効率的に運用することが求められます。

リスク管理をしながら、無駄な損失を避けつつ利益を狙うことが目標です。

次のポイントを押さえて、資金を効果的に使いましょう。



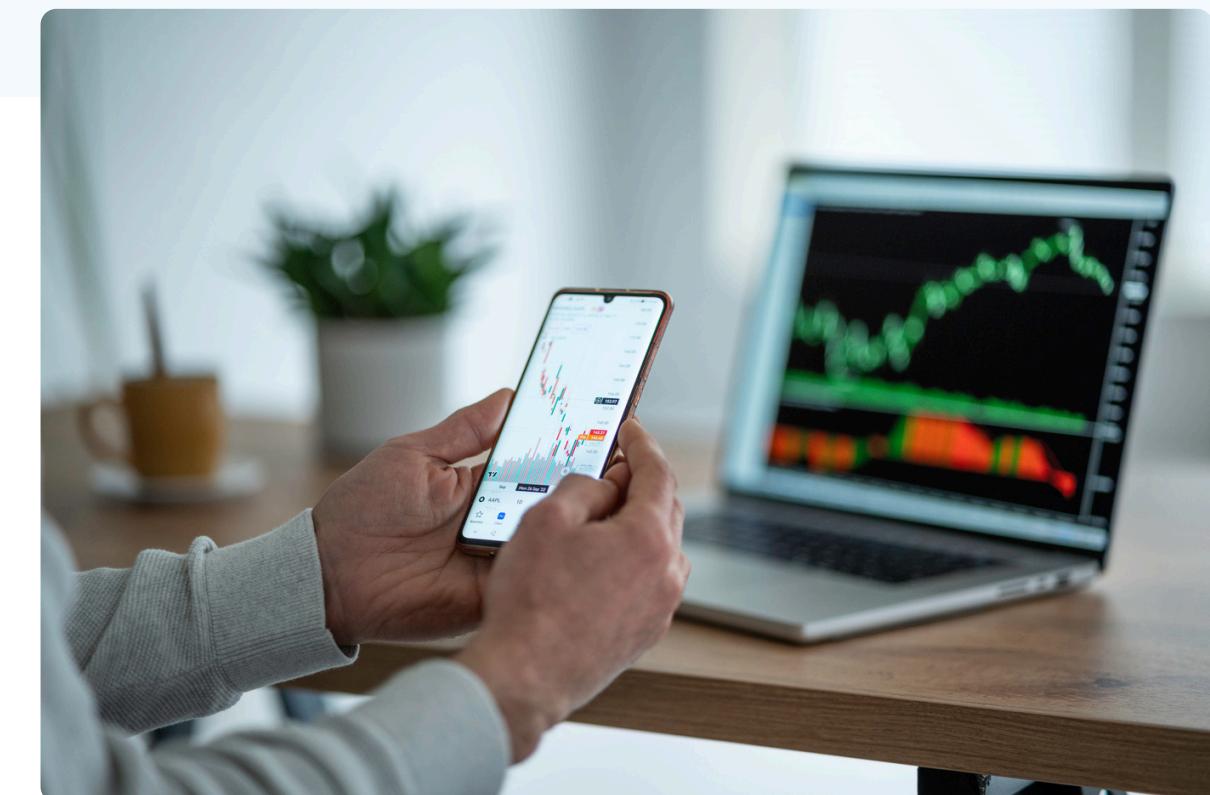
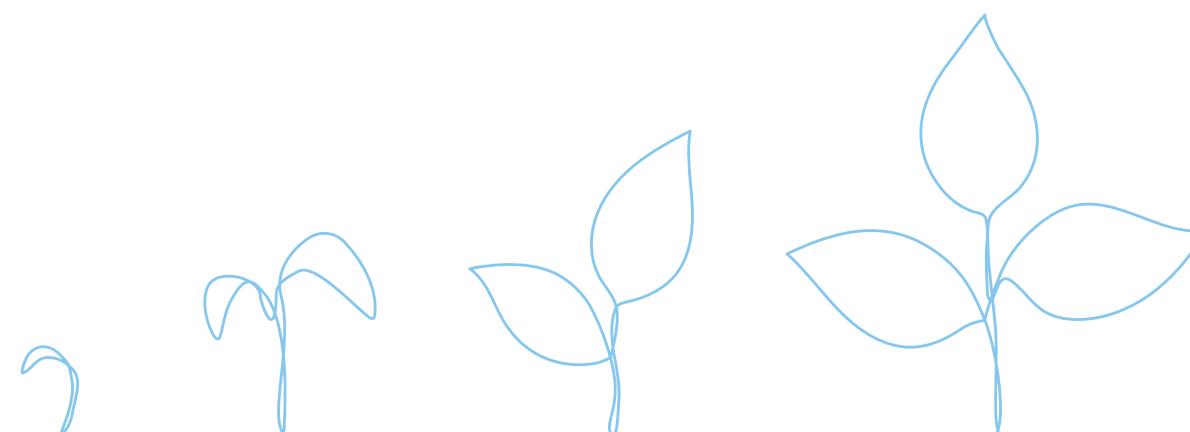


# 資金の効率的な運用方法①

「1回のトレードでの損失率」を1%以内に抑える:

トレードにおいて最も重要なのは、“生き残ること”です。

どれだけ優れた手法や分析力を持っていても、資金が尽きてしまっては意味がありません。そこで、トレコレポータルでは「1回のトレードでの損失は資金の1%以内」に抑えることを強く推奨しています。





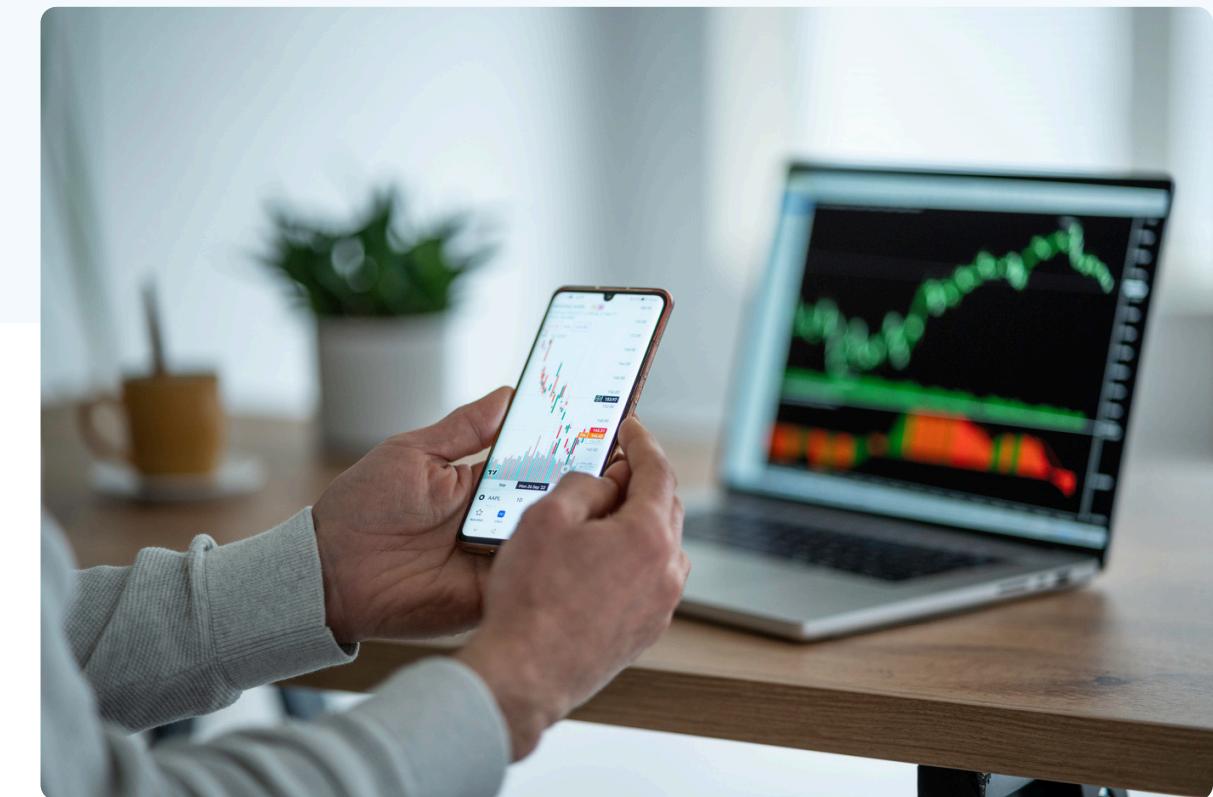
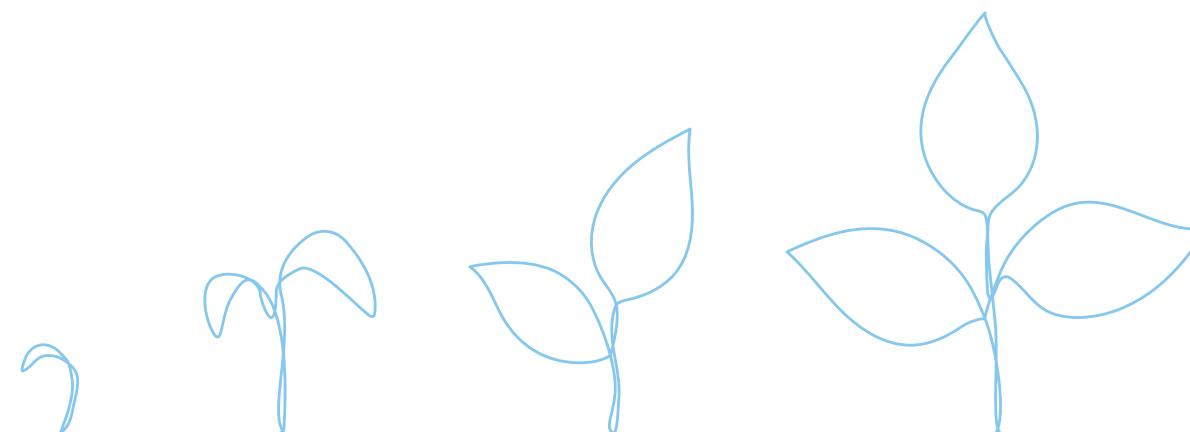
# 資金の効率的な運用方法①

## 資金の分散:

一度に全資金を1つの取引に使わず、複数のポジションに分けることでリスクを分散させます。

## 余力を残す:

資金の一部は取引余力として残しておき  
急な相場変動にも耐えられるようにしましょう。





# 資金の効率的な運用方法②

## 取引回数を抑える：

頻繁に取引するよりも、慎重にエントリーする方がリスクを減らせます。

## 適切なレバレッジの設定：

レバレッジは、少額の資金で大きな取引を行うための

仕組みですが、リスクも高まります。

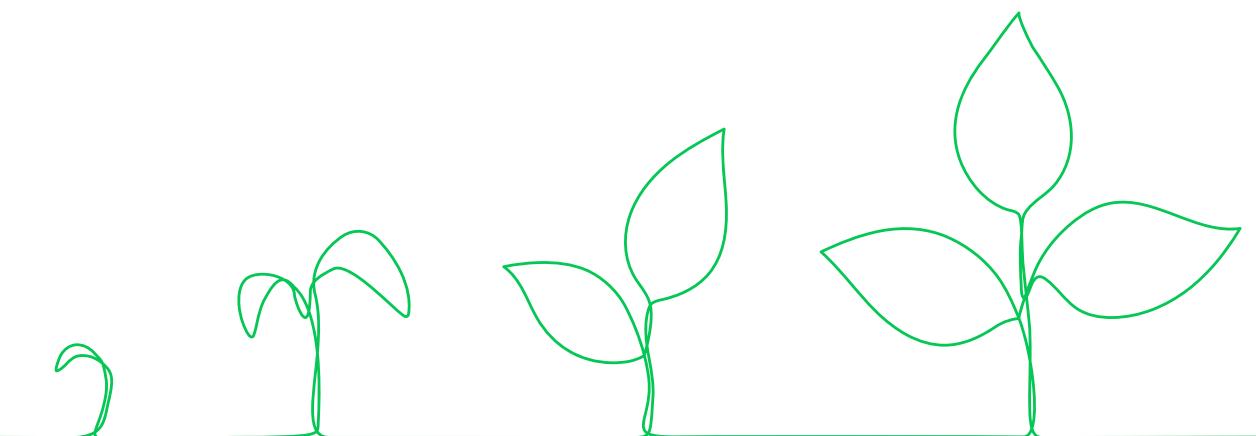
国内業者の場合、最大25倍のレバレッジを

使用できますが、レバレッジが高いほどリスクも高くなります。





# ポジションサイズの決め方 (ロット数)

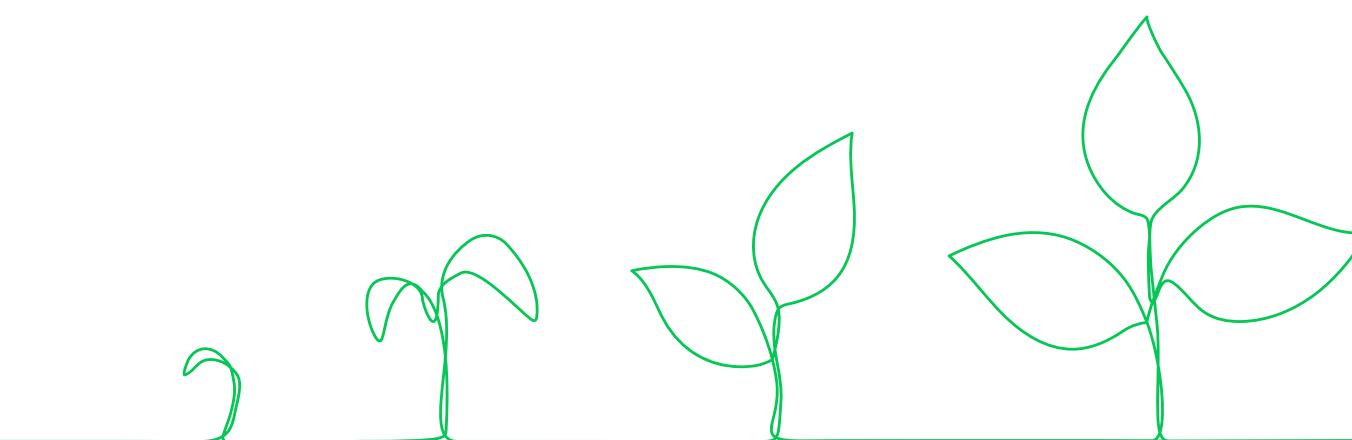




# ポジションサイズの決め方(ロット数)

ポジションサイズは、口座残高、許容できる損失額、そしてレバレッジを考慮して決定します。

初心者は、全ての資金を1回の取引に使うのではなく、資金の一部を使うのが安全です。





# ポジションサイズの決め方のポイント

## 少額でスタート：

1万通貨単位や1000通貨単位などの少額取引から始め、リスクを管理しやすくする。

## 口座残高の1%以内の損失：

一般的に、1回の取引で失っても良い金額を口座残高の1%以内に設定することをトレコレポータル内では推奨しています。

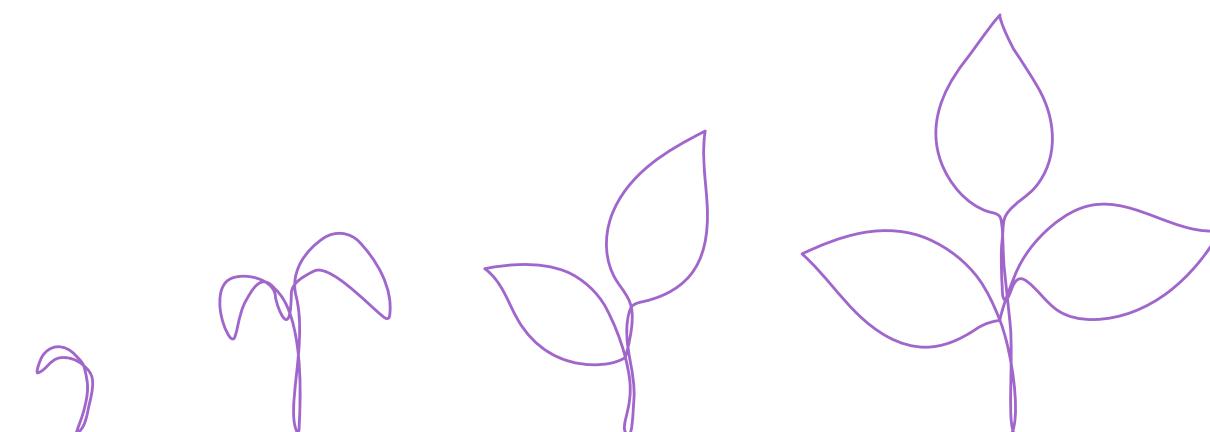
## 例えば、

10万円の資金があれば、1回の取引でリスクを1%に抑え、リワードも1%以上でポジションを取るのがおすすめです。





# 損切りラインの設定方法



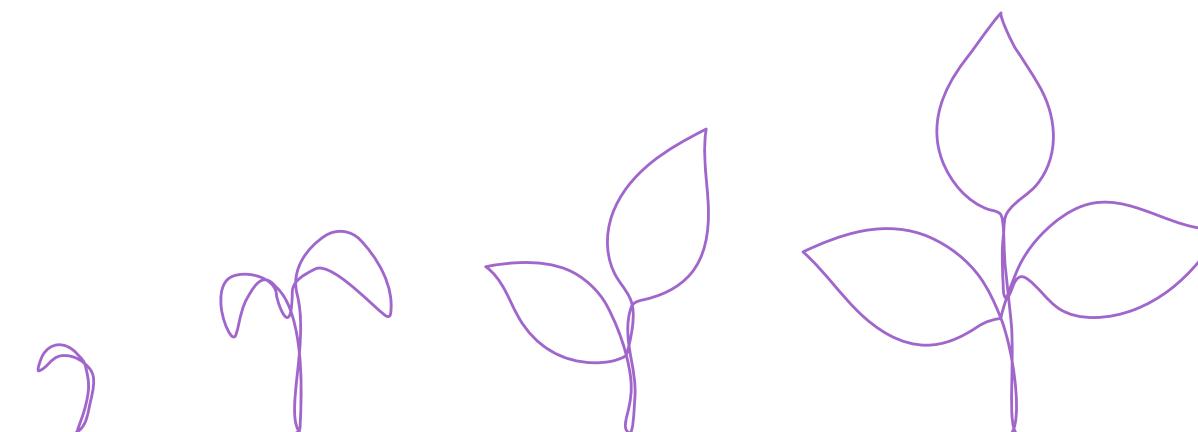


# 損切りラインとは？

「損失がここまで出たら取引を止める」というラインのことです。損切りラインを設定すると、そのラインに値動きが達した時に、自動的にポジションを決済します。

## 損切りラインの設定の重要性

損失が拡大するのを防ぎ、大きな損失から身を守るために非常に重要です。





# 損切りライン設定のポイント

リスク許容度を設定:

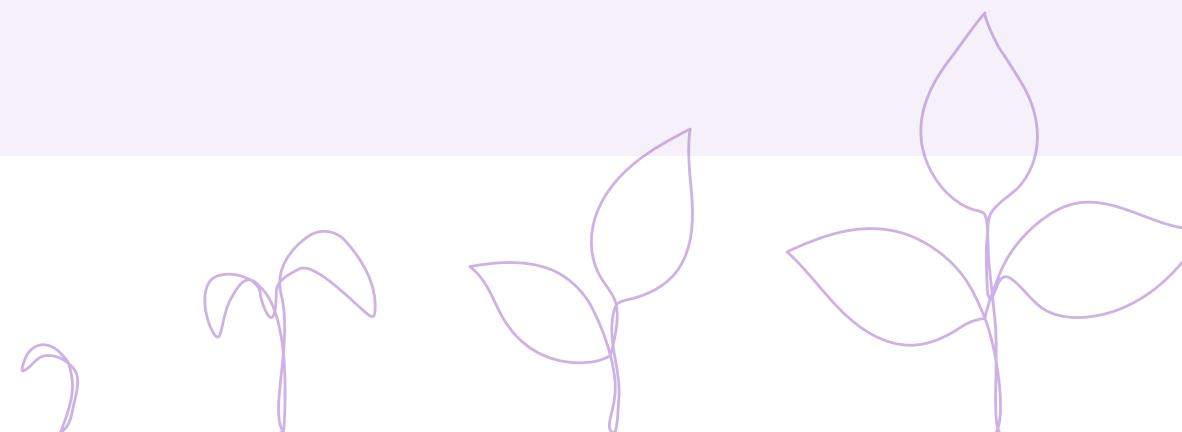
1回の取引で許容できる損失率を決め、その額に達したらポジションを閉じる。

相場の変動幅に応じた設定:

チャート上の重要なサポート・レジスタンスラインを参考に、損切りラインを決める。

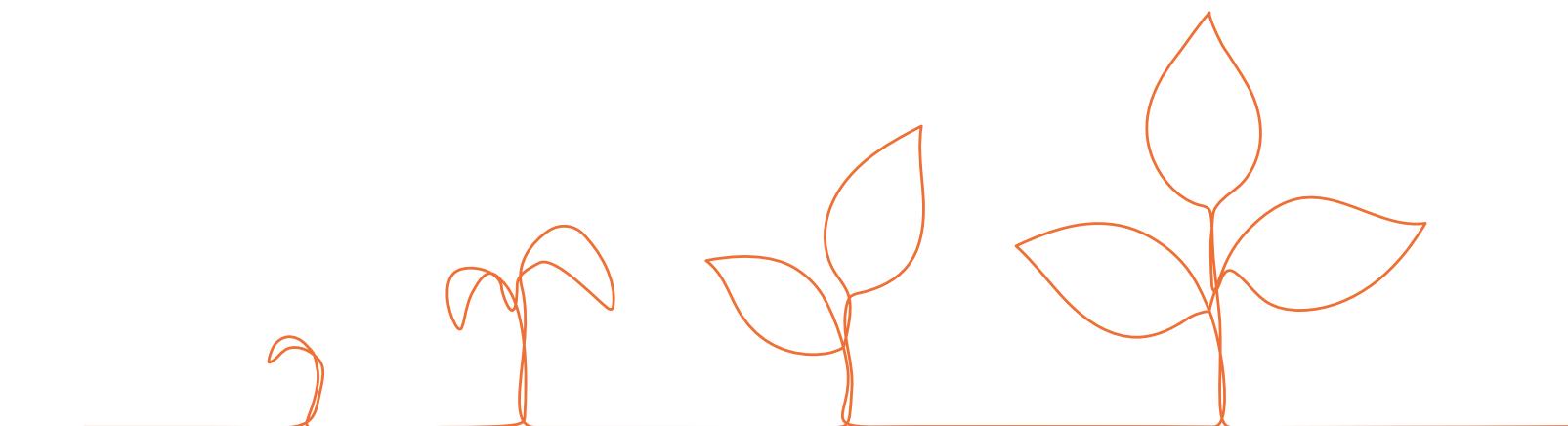
資金の1%以内に:

1回の損失額は資金の1%以内に抑えることを  
トレコレポータルでは推奨しています。





# リスクとリターンのバランス





# リスクとリターンのバランス

FX取引では、リスクとリターンのバランスが重要です

大きな利益を狙うほど、リスクも高まるため適切なバランスを保つことが成功への鍵です。

自分のリスク許容度に合った取引スタイルと資金管理を行い、長期的な利益を目指しましょう。初心者の方はまずは小さなリスクで安全に取引を学ぶことが大切です。

少しずつ利益を積み上げながら、資金が増えたら取引額を大きくしていくという方法が良いでしょう





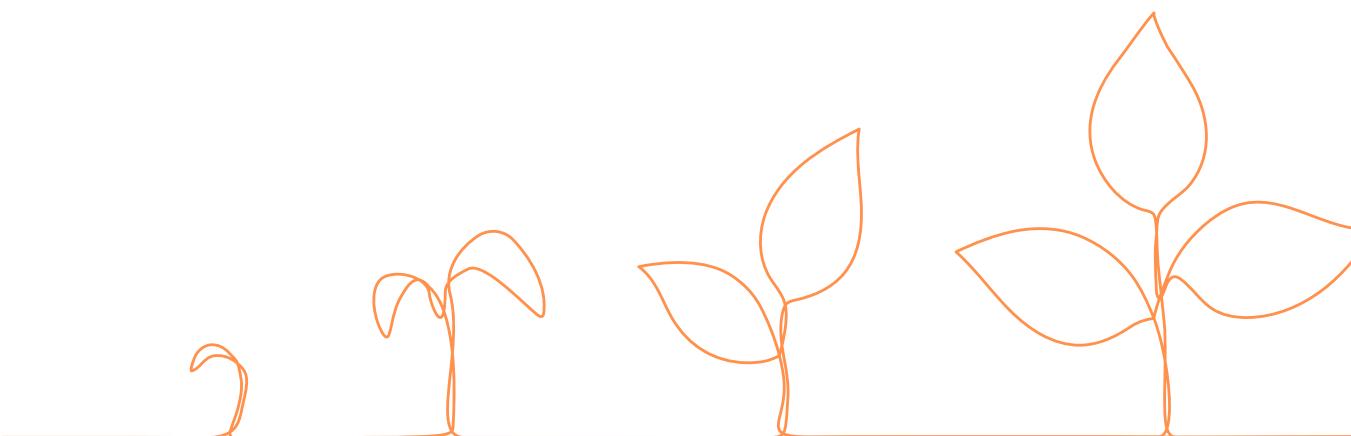
# リスクとリターンのポイント

リスク管理を優先:

無理に大きな利益を狙うよりも、まずはリスクを抑えることが大切です。

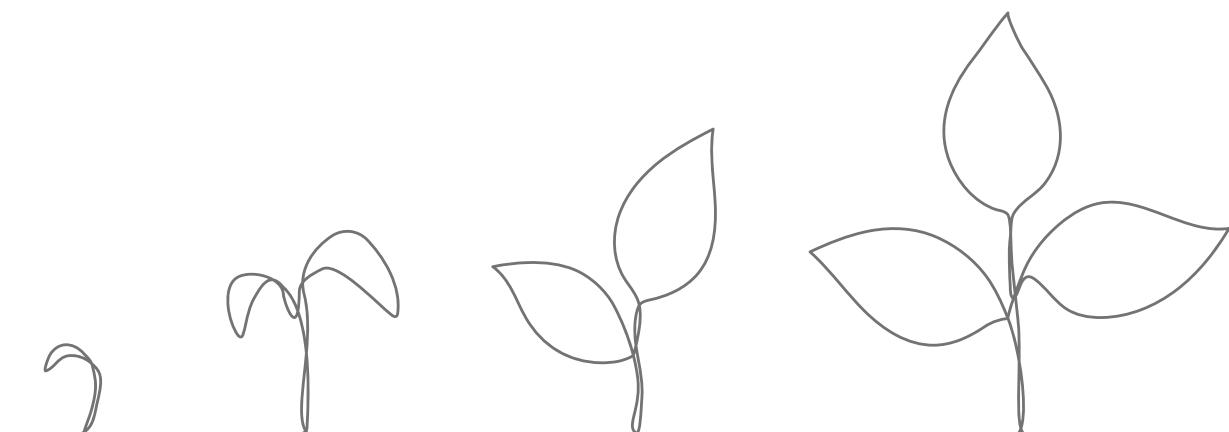
リターンはあくまで長期的に:

短期的な利益よりも、資金を守りつつ着実に  
増やす方が成功につながります。





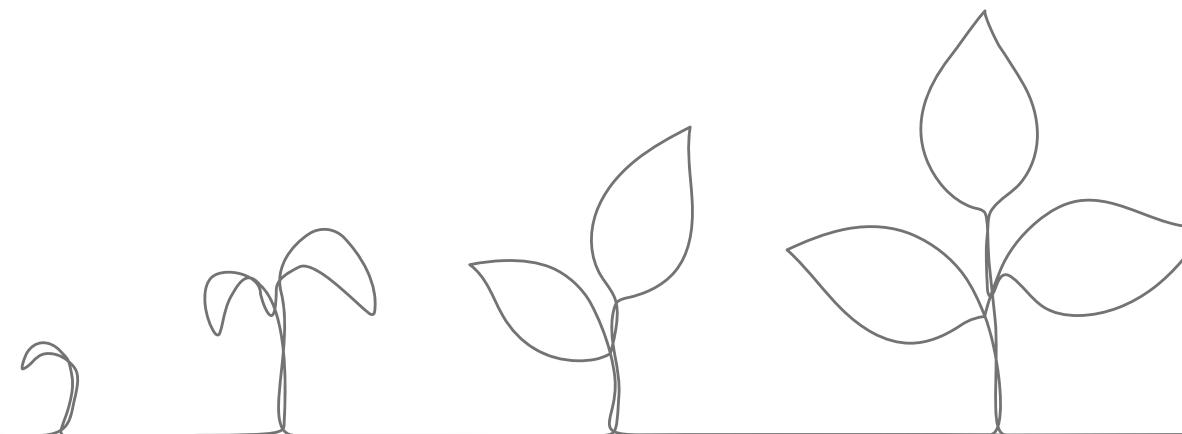
まとめ





# まとめ

資金量とその運用方法は、FX取引において成功するための基盤です。初心者の方は、無理のない資金額からスタートし、適切なレバレッジ設定とポジションサイズを守ることで、リスクを管理しながら効率的な運用が可能です。また、損切りラインの設定やリスクとリターンのバランスを意識することで、リスクを最小限に抑えつつ、安定した利益を追求することができます。



プロトレーダーを目指す者が本気で磨ける場所



知識は力に! 検証は武器に! 学びを仕組みに! 勝ちを習慣に!